

## 平成29年度新初期研修医合同研修会の開催報告

茨城県地域医療支援センターでは、今年度、本県において初期研修をスタートさせたすべての研修医を対象として、「新初期研修医合同研修会」を平成29年4月12日に茨城県庁にて開催いたしました。今回は、研修医141名、指導医等33名、総勢174名の参加をいただきました。

研修会は、3部構成で実施し、第1部では「若手医師教育研修立県」として実施する先進的な研修事業の説明や参加呼びかけをするとともに、本県の政策医療の実施体制について説明しました。また、茨城県立こども病院院長の須磨崎亮先生より小児・周産期医療の重要性についてご説明いただいたほか、茨城県地域医療担当顧問の永井秀雄先生より、若手医師へのエールと題してご講演いただきました。

第2部では、2名の講師の先生から、茨城県グローバル人材育成プログラムへの参加結果についての報告と女性医師のキャリアパスについてのお話をいただき、若手医師の多様な活躍について初期研修医に向けてのメッセージを発信していただきました。

第3部では、交流会を行い、初期研修医に加え、県内各医療機関の院長先生や指導医の先生にもご参加いただき、有意義なコミュニケーションを図ることができました。



### 内容

#### 【第1部】茨城県の地域医療の動向について

- (1) 若手医師の支援制度について
- (2) 茨城県の医療体制について
- (3) 小児・周産期医療の重要性について  
＜茨城県立こども病院院長 須磨崎 亮 先生＞
- (4) 若手医師へのエール  
＜茨城県地域医療担当顧問 永井 秀雄 先生＞

#### 【第2部】若手医師の多様な活躍について

- (1) グローバル人材育成プログラムへの参加結果について  
＜株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 檜山 和寛 先生＞
- (2) 女性医師のキャリアパスについて  
＜つくば心療内科クリニック 渡部 衣美 先生＞

#### 【第3部】交流会

## 研修事業のご案内

### 指導医団国内派遣事業のお知らせ

指導医のさらなる指導技術の向上を図るため、先進的な指導・教育に取り組んでいる沖縄県に6日間程度派遣します。

#### 対象

県内医療機関に勤務する概ね40歳以上の医師

#### 日程

平成29年11月5日(日)～10日(金)

#### 募集人員

3名

#### 参加費

研修のための経費(交通費、宿泊費等)は県負担

### 指導医団国外派遣事業のお知らせ

日本とは違う様々な場面でのレジデントに対する指導を通して、さらなる指導技術の向上を図るため、米国(ハワイ)に10日間程度派遣します。

#### 対象

県内医療機関に勤務する概ね40歳以上の医師

#### 日程

平成29年11月13日(月)～22日(水)

#### 募集人員

5名

#### 参加費

研修のための経費(交通費、宿泊費等)は県負担 ※一部自己負担あり

### 茨城県グローバル人材育成プログラム追加募集について

高い倫理観と地域医療への使命感を持った若手医師を、海外医療現場での臨床を通して高度技術を習得するために、欧米等の医療現場へ派遣します。

#### 派遣期間

原則1ヶ月以上3ヶ月以内  
(平成29年度内)

#### 募集人員

3名

#### 派遣費用

海外研修のための経費(交通費、宿泊費等)は県負担 ※上限あり

募集期間:平成29年7月14日(金)まで 申込方法等は茨城県地域医療支援センターホームページにてご確認ください。



# 4病院が結集して、『いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト』がスタートします

茨城西南医療センター病院の副院長であり整形外科部長の上杉雅文先生に、県西南地域の医療事情や来年度から始動する「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」についてお話を伺いました。

…県西南地域の医療事情についてお聞かせください。

この地域は不便なところと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、圏央道ができてからは東京へのアクセスが改善し、広いエリアで考えると人口も増え、良いサービスに日常的にアクセスできる住みやすい地域です。しかし、この地域が医師不足地域であることは間違いありませんし、救急医療の体制もまだまだ十分とは言えません。とは言え、この病院は管轄するメディカルコントロール地区が茨城、千葉、埼玉、栃木、群馬県にまたがる、全国でも有数の人口をカバーする救命センターでもあります。私達の病院に求められているのは、日常診療から重症の救急医療まで、しっかりした水準の医療だと思います。私はその点に非常にやりがいを感じています。

この病院での勤務の特徴は、救急医療との関わりだと思えます。特に当直という形で、診療科を問わずに救急の患者さんの治療を助け合う場面が多く、非常に勉強になります。自分の専門以外の領域でも、新しい知識や経験はすごくためになります。研修医の先生と、当直明けに温かい朝食をとりながら、「昨日は大変だったね」とか「循環器の先生はすごかったね」と話をします。そういう時に「この病院で働けてよかったな」と感じます。

茨城県厚生農業協同組合連合会  
茨城西南医療センター病院  
副院長 整形外科部長 **上杉 雅文**



新設された研修医室

●病院群を組むことの可能性を、沖縄派遣事業でより強く認識。

…沖縄での指導医師団国内派遣事業の感想についてお願いします。

派遣事業では、沖縄の群星（むりぶし）という臨床研修病院群事業を見学しました。そのような事業を県内でも立ち上げることができるのか、その点に興味がありました。沖縄には臨床研修医制度が始まる前から、県立中部病院と琉球大学の研修システムがありました。しかしその2つ以外を希望する研修医たちのニーズに応えるため、グローバルスタンダードを意識した研修医中心の教育体制を目標に、沖縄県立中部病院の院長もされた宮城征四郎先生が、沖縄県内の病院に声をかけて病院群を作られました。

茨城にも様々な臨床研修病院がありますが、単独の病院教育システムではどうしても都市部の大病院にはかないま

せん。しかし、中規模や小規模病院には大病院とは異なる、より患者さんに近い医療があります。また、中小規模の病院の医療にも、大病院に負けない高い水準のキラリと光る医療もあります。それぞれの病院の強みを上手くあわせて病院群を組めば、大きな病院にも負けない教育システムができる可能性があることを、沖縄に行って強く認識しました。これまで考えていたことと沖縄での研修が、新たなプロジェクトにつながっています。

●平成30年度から『いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト』が始動。

…『いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト』の活動について教えてください。

初期研修は研修医にとって、医師としての第一歩を踏み出す重要な機会です。このプロジェクトは、研修医がどんな進路を進んでも、必ずや成長の基盤となりうる研修を提供したいという思いから、当院、JAとりで総合医療センター、友愛記念病院、霞ヶ浦医療センターの4病院が協力して立ち上げました。

各病院はそれぞれ特徴があり、いずれも大病院ではないけれど、患者さんにとってはとても大切な病院です。しかしながら、臨床研修体制は、大学病院をはじめとする完結型の研修を行う大病院には及びませんでした。そこで病院機能として特徴のある中核病院が結束して、各病院の得意分野を生かしながら、相互に研修を受けられるプログラムの構築を目指し、平成30年度から病院群プロジェクトをスタートすることになりました。臨床研修医中心に、患者さんの視点を重視し、地域に根ざした臨床研修体制を整え

ることを目的としたプロジェクトです。4病院での研修に加えて、筑波大学などから著名な指導医を招いての講習も盛り込まれています。指導医の先生からは、「大学とは異なる実験的な医学教育ができる」と興味を持って頂いています。少しでも多くの医学生のみなさんに関心を持っていただけると嬉しいです。

●自分が住む地域にやりがいを見つけ、より良い医療を提供していこう。

…若手医師、医学生にメッセージをお願いします。

茨城の先生たちが何気なくやっている医療、当たり前と思ってやっていることが実は大変価値があることだと思えます。テレビなどで、神の手と言われてクローズアップされる先生もいますが、実は茨城県にもそういう先生が沢山いて、当たり前のように地域の医療に取り組んでいらっしゃいます。

自分が住む地域により良い医療を提供していくことで、地域にも喜んでもらえ、自分も喜べる。そういうことを、茨城で医療をしているとダイレクトに感じます。さらにこの病院では、そんな茨城の良さを、医療を通じ埼玉や千葉の人たちにも紹介していけるのがとてもユニークだと思います。自分の仕事の場と生活の場が近いということは、医師にとっては理想的な環境だと思います。自分が地域医療に貢献するということは自分や家族にとっても役に立つことです。茨城は非常にいいところですから、多くの若手医師や医学生のみなさんに茨城で頑張ってもらいたいと思います。

## 病院紹介 ひたちなか総合病院 （茨城県ひたちなか市石川町20-1）

当院は人口36万人を擁する常陸太田・ひたちなか医療圏唯一の総合病院で、地域の基幹病院として主に急性期医療、高度専門医療を担っています。当医療圏は、2次医療圏としては全国ワースト2位、（県内ワースト1位）の医療過疎地でしたが、臨床研修の開始、病院リニューアル、筑波大学の社会連携講座開設等で若い医師が増え、延べ150名以上の研修医が当院で研修し、人口10万人当たりの医師数は約70名から100名に約14年で大幅に増加し、現在では全国ワースト6位にランクアップしています。医療レベルは高く、高度専門手技も多く、東日本大震災の時は、市内のほぼ全ての救急車（1日約50台）を受け入れることができました。徒歩5分の勝



田駅から東京駅までは特急で約1時間で行けますし、教育・商業・飲食施設も充実し、ネモフィラ、ロックフェスで人気の国営ひたち海浜公園も市内にあります。302床とコンパクトで、各科の連携が緊密かつ垣根が低い事が当院の文化で、オープンな医局で、様々な科の指導医と交流でき、幅広い視点と技術が身につきます。当院と一緒に学んでくれる、老若男女問わず、熱いマインドの諸君を待っています。

（副院長・教育責任者 山内孝義）

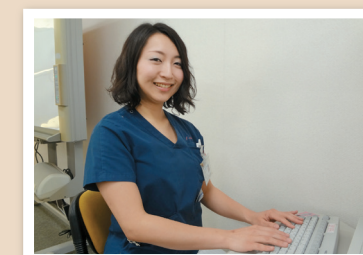
## 研修医リレーエッセイ

東京医科大学茨城医療センター

臨床研修医 **浅岡 純**

茨城医療センターの特徴は、大学病院と市中病院の中間的な存在である点です。

大学病院として先進的な医療を提供し、上級医は皆勉強熱心で教育的です。学会準備や研究が積極的に行われており、



研修医も参加させてもらえます。診療科毎の勉強会の企画も多く、外科（消化器）ではドライラボ（スポンジを用いて縫合練習）・ボックスラボ（鏡視下での縫合

練習）・ウェットラボ（動物を用いての手術練習）が定期的に行われ、臨床実習中の医学部5、6年生も交えて勉強しています。

一方、市中病院として地域に根ざした医療の提供もしています。研修を少人数で行っている為、症例や手技を豊富に経験することができ、研修医も第一線で診療に携わることが多く高いモチベーションを持ち患者様と向き合っています。

初期研修から継続して後期研修を行う医師も増えてきており、屋根瓦式で指導を受けることができます。当院で初期研修を修了した医師が多く在籍しているのは、病院が良い環境であることを反映していると思います。

ぜひ少しでも興味のある方は、当院へ見学に来て下さい。お待ちしております。



全国各地から多数の病院が集まる“レジナビフェア”が開催されます。

7月16日(日)に東京で開催される医学生向けの“初期研修フェア”には茨城県の以下の病院が参加します。一度にたくさんの情報を収集することができます。皆様、ぜひご参加ください。

### いばらき合同ブース出展予定 6病院

- 水戸赤十字病院(水戸市)
- 水戸済生会総合病院(水戸市)
- 水戸医療センター(茨城町)
- 茨城県立中央病院(笠間市)
- 株式会社日立製作所日立総合病院(日立市)
- 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院(ひたちなか市)



### 単独ブース出展予定 7病院

- 総合病院水戸協同病院(水戸市)
- 総合病院土浦協同病院(土浦市)
- 筑波記念病院(つくば市)
- 筑波大学附属病院(つくば市)
- 筑波メディカルセンター病院(つくば市)
- 東京医科大学茨城医療センター(阿見町)
- 牛久愛和総合病院(牛久市)

開催日時: 7月16日(日)  
10:00~17:00

会場: 東京ビッグサイト  
主催: メディカルプリンシプル社



〈詳細・お申し込みは〉 <https://www.residentnavi.com/>

## 茨城県からののお知らせ

### 茨城県医師修学資金貸与制度等に係る受験生・保護者向け説明会

医学部進学を希望する受験生や保護者を対象とした説明会を開催します。

茨城県地域枠・修学資金などの制度説明のほか、地域枠設置大学や自治医科大学からの大学紹介もあります。

開催日時	平成29年8月1日(火) 9:30~17:15(予定)
開催場所	茨城県県南生涯学習センター(茨城県土浦市大和町9-1 ウララビル5階) 多目的ホール
参加大学	筑波大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・杏林大学・日本医科大学・北里大学・帝京大学・自治医科大学
内容	修学資金貸与制度の概要、地域医療支援センター及び各大学からのプレゼンテーション等

## 茨城県地域医療支援センター

茨城県水戸市笠原町978番6(保健福祉部医療人材課内) TEL:029(301)3191

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/jinzai/ishikakuho/isei/ishikakuho/top/index.html> E-mail: [i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp)